

平成29年度指定障害福祉サービス事業者等集団指導 資料

## 平成28年度「第1回防災研修会」



熊本市消防局予防部予防課

# 「消防訓練」の必要性

火災が発生した場合、**混乱状態**となり通常の行動がとれない。（過去の火災事例をみても！！）

関係者全員が**火災発生時にやるべきことを理解し、混乱していても行動がとれるように、日頃から訓練を行うことが必要。**

特定防火対象物

年2回以上実施。

非特定防火対象物

消防計画で定めた回数

# 訓練計画の作成

訓練計画の作成にあたっては、**出来るだけ多くの職員**を交えて話し合いながら計画を立ててください。  
事業所全体の防火意識向上につながります。

## 計画事項は5項目！

1 訓練日の決定



2 出火時間の設定

火災が発生した時間を設定します。

**就寝中，食事中**，火災はいつ発生するかわかりません。  
発生時間によって**対応できる人数**も変わってきます。

# 訓練計画の作成

## 3 出火箇所の設定



(1) 出火箇所は訓練の度に変更

※火災発生時の様々な対応を修得するため

(2) 訓練参加者へは出火箇所は事前に公表しない

※より実践的な訓練となる。

## 4 役割分担の決定

(1) 訓練を重ねて職員全員が全ての役割をこなせるように

(2) 役割分担には、評価者、ビデオ撮影者も指定する。

※訓練終了後、検証する時に有効！！



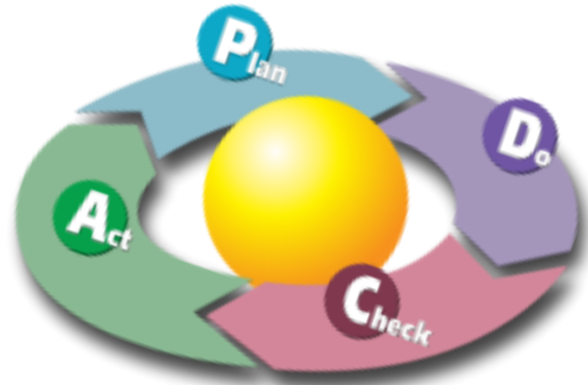
## 5 避難場所・搬送方法の決定



- (1) 最終的にどこに全員を避難させるか
  - (2) 避難場所までの搬送方法 避難経路の選択
- ※訓練の想定や訓練に参加できる人数に合わせ、  
最良の方法を決定。

# 訓練計画の作成

訓練計画の作成（事前準備）

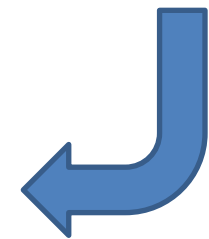
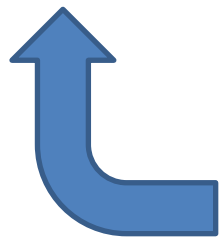
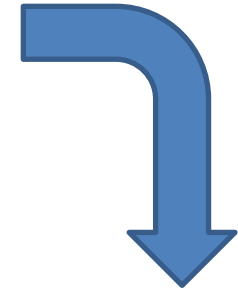
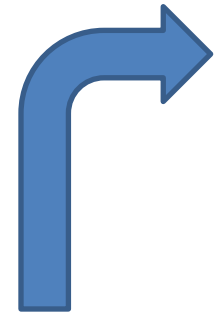


訓練の実施

実践訓練  
図上訓練

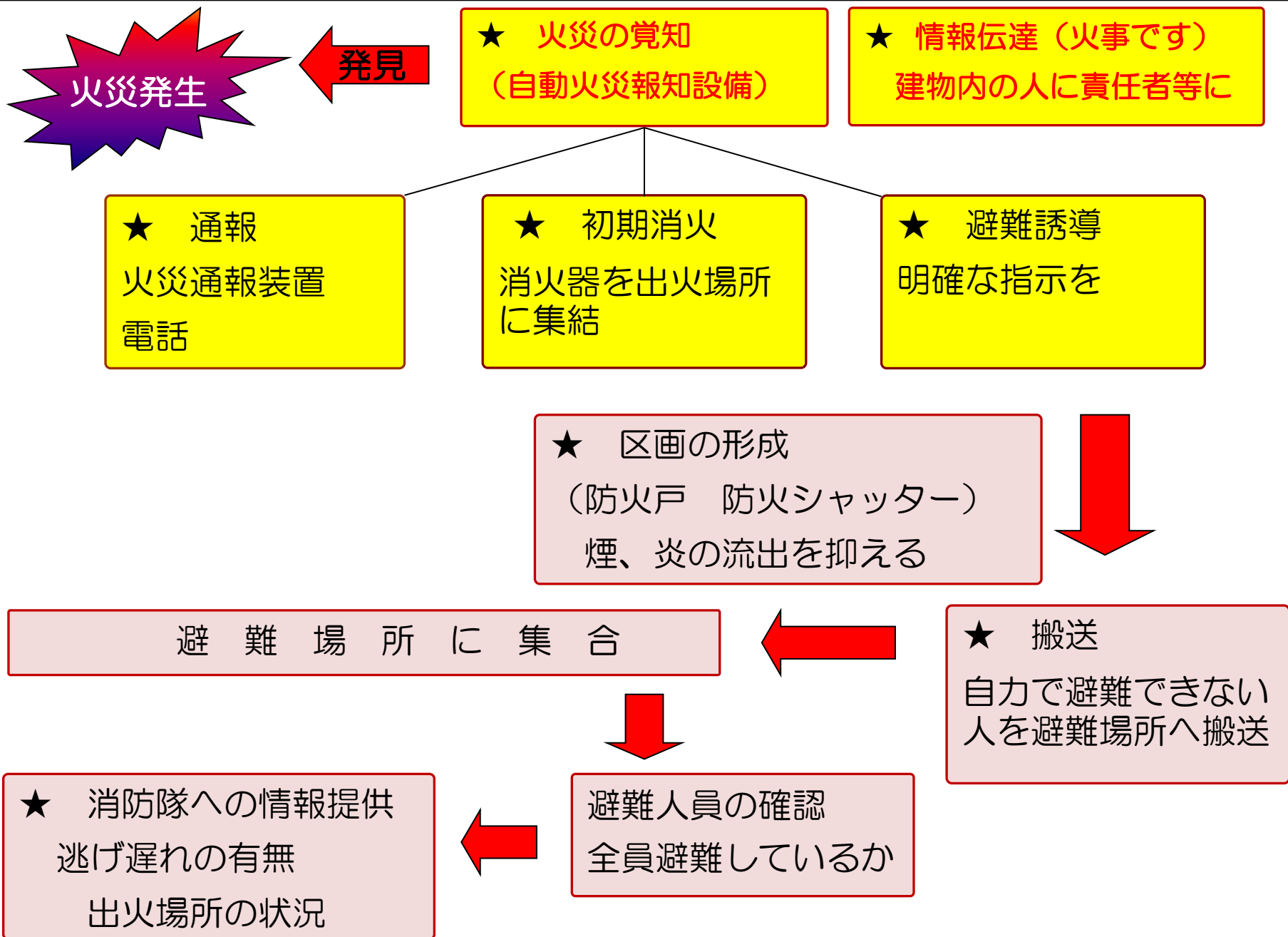
訓練の検証（反省点等）

改善（訓練計画  
への反映）



# 消防訓練の実施！

# 消防訓練の流れ



# 抜粋資料 2

図上訓練をしましょう



# 主眼

- ① 勤務している建物の状況を把握する。
- ② 火災発生時、何をしなければいけないか、瞬時にイメージする。
- ③ 火災の状況に応じた臨機応変な行動をする。

※防火管理者や責任者だけが理解していても、スムーズな対応はできません！

# 訓練要領

- ① **想定**を伝える。
- ② 図面を見て**全体像**を把握してもらう。
- ③ **火災発生場所**を伝える。
- ④ **初動から避難完了**までをイメージする。
- ⑤ 行動の**1つ1つ**を**順番に**書き出す。

# 想定 1

午前 10 時半頃、**あなた**は建物（耐火構造 2 階建て）の**1 階**で仕事中です。  
自動火災報知設備の非常ベルが鳴り出しました。

**1 階**には**職員 A**がいます。

**2 階**には**利用者(歩行可能)**が**複数**名います。

**消火器**、**屋内消火栓設備**が設置されています。

自動火災報知設備の**受信機**は**1 階**に設置されています。

## 1階

